

CT perfusion imagingと dual-energy CTに基づいた急性期脳主幹動脈閉塞症に対する急性期血行再建術の適応基準の構築

① 共同研究・産学連携への意気込み



講師 (学内)
南都 昌孝

急性期脳虚血における脳循環代謝の病態を解明し、脳灌流画像に基づいたより正確・簡便・安全な治療適応基準を構築します。

② 想定される連携先・移転先

急性期血行再建術を行っている関連施設と連携し、CT灌流画像に基づく治療適応基準の標準化と治療成績の検証に関する他施設共同研究を目指しています。

キーワード

急性期脳主幹動脈閉塞症、脳循環代謝、急性期血行再建術、治療適応基準の構築

研究内容

急性期脳主幹動脈閉塞症例に対し、術前にCT灌流画像を撮像して脳灌流の各種パラメータを評価します。術前後のMRIを評価し、閉塞血管の再開通の有無と脳梗塞の完成との相関について検討するとともに、術後の頭蓋内出血と造影剤の漏出を鑑別可能なdual-energy CTを用いて、出血性合併症との関係についても検討します。それらの結果より急性期脳梗塞における脳循環代謝の病態を解明し、急性期血行再建術の適応基準の構築を目指します。

